

# Energy Around Us

生体エネルギーの  
謎にせまる

「気」「プラナ」「オーラ」などと呼ばれる  
生体エネルギーとは一体何なのか？  
目にはみえない「力」の不思議にせまります。

ブ  
ロ  
ー  
グ

## 知的冒険へのいざない

生命の営みには神経があふれています。まずは、自分の身体を見つめてみて下さい。「なぜ腕の場所が脚はえたりしないのかな？」と不思議に思ったことはありませんか？腕の細胞も脚の細胞も、もとをただせば、ひとつの受精卵から分裂したもののですから、同一の遺伝子(DNA)をもっています。個々の細胞は、その場所を要求される役割に依じて、DNAの情報を選択的に利用します。つまり、腕の細胞は、腕になる情報を使うから腕になるのであり、脚の細胞もまたしかりというわけです。特定の種類の細胞は、「いつ」「どこで」「どの情報」を使うのかを「知っている」のです。これだけでも驚嘆する事実なのですが、さらに驚くのは、たとえ細胞群が調和の

か？」ということですが、「腕」の細胞群の一部でも「脚」になろうとしたら、その腕は全くつかいものにならないでしよう。しかし、そういった反逆はおきないのです。何億人もの演奏家がいる巨大なオーケストラを想像したときすれば、億の細胞から成る群が身体機能を調和させるべく「協同」することが、どれほど奇跡的なのか、ご理解いただけると思えます。一体何が細胞分裂を組織的に統制するのか、実はまだまだよく理解されていません。DNAはオーケストラの例でいえば、楽員に渡された楽譜に相当します。科学は「楽譜」についてはかなり明らかにしてきたのですが、「指揮者」については何も解明していません。

細胞分裂を見事に統制する「指揮者」とは一体何なのか？それは実態のあるものなのでしょうか？残念ながら短期的には答えられません。ただ、「指揮者」が何であるかを言えなくとも、「指揮者」が存在することは、間違いないささうです。細胞間の関係において、何がしか目に見えない「力」が働いているに違いないのです。

この連載では、こういった目には見えない「力」の作用を、可能な限り客観的に説明していきます。連載を通じて、「気」とか「プラナ」とか「オーラ」などと呼ばれる生体エネルギーとは一体何なのかを、理解していくことを目的としております。読者の皆様には、ただ好奇心と忠実であつて欲しいと願います。我々はいつしか明らかか、目に見えない「力」に驚嘆することを忘れてしまつたのではないであらうか？この連載は、あえてその見えない「力」に光をあて、その存在を知る知的冒険への誘いなのです。